

「いのちを学ぶ」ということ

「いのちと触れ合う」ということ

「いのちを頂く」ということ

「自然を大切にする」ということ

生命尊重教育セミナー

RSPCAによる命の授業

私たちは動物たちと多くの関わりを持って暮らしています。
子供たちに「命の大切さ」を学んでもらうにはどうしたら良いでしょうか。

本セミナーでは、実用性のある教育ノウハウや、各学年にあわせた目標、指導計画、指導体制、評価計画などを、世界で活躍されている英国王立動物虐待防止協会（RSPCA）の専門家の先生にご講義いただきます。子供たちへの命の教育について興味のある方は是非ご参加ください。



「いるだけ」「見るだけ」「触るだけ」になっていませんか？

開催日

2026年
2月21日(土)・22日(日)

会場

日本獣医生命科学大学 B棟314
JR中央線「武蔵境駅」徒歩2分
東京都武蔵野市境南町1-7-1

定員

50名(先着順)

費用

無料 無断キャンセルはご遠慮ください。

David F Coggan

RSPCA教育部門/教師/生物学者/教育学特別研究員/動物哲学/学校経営
英国で15年間生物学と科学教育の教師を務める。獣医学や学術的教育理念に関する経験から、RSPCAの教育部門に任命。
教育現場での動物福祉教育や校外活動、生涯学習、NGOやボランティア育成などの、活動をしている。



Paul Littlefair

RSPCA国際部長/文学士・生物学協会評議員/教育学院準会員
国際部門のトップを務め、世界各国の官民学の事情に詳しく、様々なプロジェクトの監修も行ってきた。動物福祉教育において、その実践と普及に努める。アジア地域において動物福祉を普及する特別任務も担っており、動物福祉の普及を推進し、動物に関するあらゆる分野における知識を分かち合う機会を奨励するなど、様々な活動をしている。



逐次通訳 山崎 恵子氏 一般社団法人アニマル・リテラシー総研代表理事

